

あこう社協だより



MAZEKOZE
AKO 2021
ライトアップ
アップブルー
赤穂



【特集】はじめよう！ボランティア…………… 2P
赤穂市福祉のつどい 開催
新しいレクリエーション用品のご紹介…………… 5P
まち発見！あこう福祉ニュース
三世代交流事業助成…………… 6P
介護保険について考えよう！ヘルパー編⑥
ひきこもり家族のつどい…………… 7P
ちょっといい話
あこうのホッとな人No36…………… 8P

毎年4月2日は、自閉症をはじめとする発達障がいへの理解を深めることを目的に国連で制定された「世界自閉症啓発デー」であり、世界各地で啓発行事が行われました。

市内では、「赤穂ペアトレ研究会」が主催で、赤穂城隅櫓を自閉症啓発のシンボルカラーであるブルーにライトアップしました。また、グラフィックレコーディング(絵や図を使い研修の内容をまとめる)を使った研修会を実施し、自閉症とは何か知ってもらおうきっかけや、皆で助けあう関係づくりについて学びました。

特集

はじめよう! ボランティア

ボランティアは福祉分野だけでなく「環境保全・自然保護」「伝統文化の継承や芸術の普及」「国際的な支援活動」「災害ボランティア」など多様な分野で活躍しています。

「人とのふれあい」や、「遊び・話し相手」「配食・外出支援」など生活を支援する活動も多くあり、地域の方の暮らしを支える重要な役割を担うこともあります。

また、コロナ禍でも、手作りマスクや折り紙、絵手紙などの作品の提供、リモートによる交流や配信の活動なども行っています。

近年では、企業やNPO法人など各種団体による、物品や食料の提供、募金活動や清掃活動などの社会貢献活動も活発になってきています。

今回の特集では、ボランティア活動をされる際のポイントや活動の紹介、ボランティア講座の紹介をします。

ぜひこの機会に、ボランティア活動をしている人もしていない人も参考にしてください。

環境保全



伝統文化



手作りマスク



災害ボランティア



募金活動



企業からの提供品



ボランティアを楽しくするための4つのポイント

- ①『自主性・主体性』 自分から進んで行動する
強制されたり、義務として行うものでなく、自分自身の「やってみよう」という気持ちを大切に「できること」や「したいこと」を探してみましょう。
- ②『社会性・公共性』 とともに支え合い、学び合う
社会にはさまざまな課題があり、改善していくためには心を広くして、一人ひとりが考え、多くの人と力を合せながら活動しましょう。
- ③『無償性・無給性』 報酬を求めない
金銭や対価の見返りを目的にするではありません。出会いや発見があり、物事の継続や達成感、感動したり幸せな気持ちにたくさんなれます。
- ④『創造性・開拓性』
何が必要かを従来の考え方にとらわれず、自由な発想を大切にしながら方法や仕組みを考え、新しく創りだしていきましょう。

ボランティア活動紹介

音楽レクリエーション・研修会講師ボランティア



らく
楽さん

本名：下野 政嗣 さん（有年横尾）

◎連絡先

☎080-6173-1689

✉shimopapa55555@gmail.com

「皆さまの集いの場に、気軽に呼んでください。机2台あれば後は準備してきます。みんなで一緒に楽しみましょう」と楽さんは話していました。

最初は会社員だったので、退職し高齢者施設や児童養護施設で勤務した後、今年の3月末まで、備前市社協の事務局長として9年間働きました。福祉の仕事を経験したことで、人とのふれあいが大切であることに気づきました。

この活動をしようと思ったのは、妻が肺がんでステージ4と医師から余命宣告を受けたことがきっかけです。妻との生活が残りの僅かになり、人生の最期を迎える準備である終活を一緒に行い、改めて家族の大切さが分かりました。妻と相談し、妻の死後何したいか考えた結果、地域の盛り上げ役になれたらと思います。

ハーモニカなどの演奏の特技を活かして、一緒に歌って笑い合う活動をしています。また、自身の経験から地域福祉や児童・高齢者福祉、終活の講話もできます。楽しいことが好きで、家でゆっくりするより、どんどん外に出て、たくさんの人とふれあうことが性に合っています。

大切な人を大切にしていますか？



令和3年度ボランティアセンター新規登録グループ

この会は、災害で飼い主がいなくなったり、家庭の事情で飼いたくても飼えなくなってしまう犬や、保健所から引き取った犬などをボランティアで保護していた三村可奈子さん（宮前町）の活動に賛同し、友人などが集まって令和元年11月に結成したボランティアグループです。

現在5名の会員と、会員の子どもたちで、海岸や散歩コースの清掃をしています。

保護犬や猫は、居場所がなくなったり、飼い主がいなくなり、怯えやストレスを抱え、人と距離ができてしまうこと



◎連絡先 三村さん

☎090-8209-6686

✉kzk1232000@yahoo.co.jp

「皆さまの集いの場に、気軽に呼んでください。机2台あれば後は準備してきます。みんなで一緒に楽しみましょう」と楽さんは話していました。

この会は、災害で飼い主がいなくなったり、家庭の事情で飼いたくても飼えなくなってしまう犬や、保健所から引き取った犬などをボランティアで保護していた三村可奈子さん（宮前町）の活動に賛同し、友人などが集まって令和元年11月に結成したボランティアグループです。

最近では、コロナ情勢による経済的な問題などで、家庭で飼えなくなった犬も出てきているようです。代表の三村さんは、「保健所に行かれる前に一度ご相談ください。何か力になれるかもしれません。犬と猫の里親も募集していますので興味ある方はご連絡ください」と話していました。

最近では、コロナ情勢による経済的な問題などで、家庭で飼えなくなった犬も出てきているようです。代表の三村さんは、「保健所に行かれる前に一度ご相談ください。何か力になれるかもしれません。犬と猫の里親も募集していますので興味ある方はご連絡ください」と話していました。

犬も環境も大切に

ハピネスオハナ Happiness Ohana



があるのでは、もう一度、人とふれあい、家庭で生活できるよう教育をしています。その他にも、里親の募集や野良猫のTNR（トラップ・ニューター・リターン）活動をしています。野良猫に、不妊去勢手術を行い、これ以上子を産まないようにし、元の場所や地域に戻す活動です。

ボランティア講座紹介

レクリエーションボランティア養成講座（折り紙） 参加者募集！

ひとりでも大人数でも楽しい折り紙。自分のレパートリーをもっと増やしませんか？

- ◆日時 火曜日コース：6月15日（火）・22日（火）の2日間
水曜日コース：6月16日（水）・23日（水）の2日間 両コースとも午前10時～11時30分
- ◆場所 総合福祉会館 2階研修室
- ◆対象 折り紙に興味のある市民 両コース各10名
※昨年度の同講座を受講されていない方を優先させていただきます。
- ◆講師 日本折紙協会 折紙講師 網本 千賀子 氏
- ◆受講料 無料
- ◆申込締切 6月8日（火）
- ◆申込先 下記までご連絡ください。



ボランティア出前講座のご案内！

ボランティア活動についての理解や関心を深めていただくため、市民や市内企業・各種団体の皆さまを対象に、出前講座を実施しています。出前講座は、何人からでも開講します。

講座会場についてはご準備ください。下記の内容を参考に、ご連絡ください。



内容

①暮らしの中のボランティア（ボランティア入門） ボランティアの基本的な考え方や活動を学ぶ。	⑥点字にふれてみよう（点字体験） 点字によるコミュニケーションを学ぶ。
②車いすから見える社会（車いす体験） 車いす利用者の目線、支援方法を学ぶ。	⑦防災について考えよう（防災講座） 日常からできる防災知識や工夫を学ぶ。 NEW
③見えないことを感じよう（アイマスク体験） 視覚障がい者の不便さを知り、支援方法を学ぶ。	⑧障がい者スポーツ（障がい者スポーツ体験） 実際にプレイして楽しく学ぶ。 NEW
④高齢者の体の状態を体験しよう（高齢者疑似体験） 高齢者の日常生活動作を体感し、支援方法を学ぶ。	⑨その他 ①～⑧以外の内容を相談。
⑤手話にふれてみよう（手話体験） 手話によるコミュニケーションを学ぶ。	所要時間の目安 ①が30分～、②～⑧は60分～です。

費用無料 ※基本無料ですが講座の内容によっては、材料費等が発生する場合があります。

こんなボランティアも募集しています♪

お弁当調理・配達



紙バッグ作り



その他、ボランティアしたい方や、してほしい方等、下記まで気軽にご相談ください。



はばたけ未来へ 赤穂

6月は善意の月間

赤穂市福祉のつどい 開催

- 日 時：6月12日(土) 午後1時30分～
- 場 所：赤穂市文化会館(小ホール)

入場無料

事前予約制
先着150名
市内在住
在勤者優先

(講師プロフィール)

1961年兵庫県生まれ。1994年に国家資格である第1回気象予報士試験に合格、2011年には防災士の資格を取得した。

朝日放送「おはようコールABC」「おはよう朝日です」での気象予報を中心に、自然災害発生時には防災士の知識も活かして、実生活に役立つ情報を伝える。

自治体や企業が主催する防災講演会、パネルディスカッションなどにも参加している。

【第1部 記念式典】

表彰 つつじ賞・さくら賞・ふくしの人 ほか

【第2部 記念講演】

『防災は自助・互助・協働のまちづくり』

気象予報士・防災士 正木 明氏



【申込方法・問合せ先】

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み、事前予約制としますのでご理解のほどお願い致します。

下記の電話・FAX・メールのいずれかで、5月10日(月)から受付開始し、定員になり次第締め切ります。先着での受付となりますが、電話申込みの場合は、平日午前9時～午後5時の間にお願いします。

※当日は、マスク着用などの感染予防にご協力ください。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、行事を中止・縮小する場合があります。

新しいレクリエーション用品のご紹介♪

ふれあい・いきいきサロンや自治会、子ども会などの活動の活性化や地域住民間交流を図るため、レクリエーション用品を無料で貸し出しています。貸出予約は、使用希望日の3カ月前から受付しています。※個人的な貸出、営利目的や市外での使用はお断りしています。



体操DVD

シニア体操のお兄さんと一緒に、気持ちよく動かせる範囲で楽しみながら体を動かしましょう。7曲入りのDVDです。



ユニボッチャロトロ

パラリンピックで知られるユニバーサルスポーツです。子どもから高齢者まで、一緒にできます。

みんなで楽しめて盛り上がるレクリエーション用品を60種類以上用意していますので、詳しくは下記までお問合せください。社協ホームページでもレクリエーション用品の一覧を掲載しています。

生活福祉資金 新型コロナウイルス特例貸付のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響により休業や失業等、収入減少があった世帯を支援するため、生活福祉資金貸付制度の緊急小口資金及び総合支援資金(生活支援費)の特例貸付を実施しています。

- 緊急小口資金 貸付限度額 10万円または20万円以内
- 総合支援資金 貸付限度額 単身世帯月額15万円以内 × 3カ月
複数世帯月額20万円以内 × 3カ月

受付期間：令和3年6月末まで

総合支援資金の申請については、自立に向けた支援を進めるため、貸付を受けている間に市自立相談支援機関の支援を受けることが必要です。

詳細については、兵庫県社協・赤穂市社協ホームページ、facebook、または下記までご確認ください。



一袋の思いを召し上げ

4月12日(月)、フードバンクあこうが福祉会館玄関にて、コロナ禍の生活に苦しむ大学生や専門学校生の支援を目的に無料で食料支援を行いました。今回は事前予

まち発見!



あこう福祉ニュース

約制で、学生117名分の食料を前々日に約4時間かけて袋詰めし、お米1.5kgやグラノーラ、お菓子・飲料、除菌グッズなどを手渡しました。

取りに来た学生の一人は、「コロナの影響でバイトが減ってしまい、生活が苦しくなったので助かった」と話していました。

三世代交流事業助成

新たなふれあいの場で、子どもも大人も笑顔に

高齢者と子ども、親など三世代が交流する事業を支援します!

☆助成対象団体・内容

市内に主な活動の基盤を有する5人以上で構成する団体またはNPO法人であり、新たに自主・自発的に行う交流事業であること



○助成対象事業の一例

- ・遊びやレクリエーションを通じてふれあう行事
- ・グラウンドゴルフ等スポーツを通じてふれあう行事
- ・高齢者と子どもがふれあう行事 など

※内容によっては、対象とならない場合もあります。
 ※事業実施時は、新型コロナウイルス感染予防のため、兵庫県の推奨する「ひょうごスタイル」に基づいての実施をお願いします。

☆対象となる経費

事業を実施するために直接必要となる経費
 (団体の構成員等の人件費、謝礼、旅費交通費、飲食費、備品購入費などは対象外)

☆助成金の交付額

上限3万円(初年度と同じ内容の事業を実施する場合、2年目は2万円、3年目は1万円を限度)

☆申込方法・提出締切

必要書類

三世代交流事業助成金交付申請書
 (赤穂市社会福祉協議会のホームページからダウンロードすることもできます)

提出方法

赤穂市社会福祉協議会の窓口まで申請書をご持参ください。

提出期限

令和3年6月30日(水)
 ※助成金には審査があります。事業実施前に余裕を持って申込みください。
 5・6月に実施される場合は、必ず下記までご相談ください。

詳しくは下記までお問合せください

令和3年度地域相互見守りモデル事業(地域となり組)実施団体の募集

事業趣旨	子育て支援や高齢者の見守り、サロンなどの居場所づくり等を通じて、住民同士が世代・性別を問わず助け合いのできる地域コミュニティの構築に取り組む地域団体等を募集します。
対象団体	地域団体、地域団体による協議体、NPO法人等
補助予定団体数	6団体程度
補助金額	1団体あたり50万円限度
事業実施期間	交付決定日から令和4年3月31日
募集期間	5月21日(金)～6月21日(月) ※募集期間内必着 ※応募書類等は、兵庫県のホームページからダウンロードしてください。
問合せ先	兵庫県健康福祉部社会福祉局地域福祉課地域企画班 TEL 078-362-3181・FAX 078-362-4262



介護保険について考えよう！ ヘルパー編⑥

●訪問介護（ホームヘルプ）とは？

利用者の「できないこと」を手伝い、ご自宅で“自分らしい生活”を送れるよう、「できること」を増やしていく支援です。

『身体介護（直接身体に触れて行う援助）』のうち、今回は「排泄介助・体位交換」について紹介します。

排泄介助では、ベッド上でのオムツ交換、トイレやポータブルトイレへの移動・移乗、排泄動作の見守り・介助を行います。

ベッド上でのオムツ交換は、仰臥位（仰向け）から側臥位（横向き）に体位交換します。利用者ができる動作は協力していただき、交換後は安楽な姿勢を確認し、保持できるようにします。



心配ごと相談所よりお知らせ

相談無料

秘密厳守

市民の皆さまの日常生活のあらゆる不安や悩みごとの相談に応じます。一般相談・弁護士相談・こころの相談について、どれを選ばよいか分からないという時は、担当者よりご案内させていただきます。お気軽にご相談ください。



心配ごと相談所のご案内（5月12日～6月9日まで）

【一般相談】5月12日(水) 5月26日(水)
6月2日(水) 6月9日(水)

【弁護士相談】(要予約) 5月19日(水)

【カウンセラーによるこころの相談】(要予約)
5月12日(水) 5月26日(水)
6月2日(水)

※時間はいずれも午後1時～5時までです。

問合せは、下記までご連絡ください。

ひきこもり家族のつどい

外出しづらくひきこもり状態にある方の家族を対象に、つどいを開催します。日々の思いや疑問、不安など何でも大丈夫です。ぜひこの機会に、一緒にお話ししてみませんか。

申込不要

時間内
出入り自由

◆日 時：5月27日(木)
午後1時～4時

◆場 所：みんなのいえ
(赤穂市塩屋656-17)

◆対 象：ひきこもり状態にある方の家族

◆参加費：無料

◆問合せ：下記までお問合せください。

※つどいは、毎月第4木曜日午後1時～4時に開催しています。

賛助会費ありがとうございました

(敬称略)

【個人】 本家 洋史 小椋 康博 田中 強 松本美恵子 寺内加代子
山下 康子 竹内 久恵 中道恵美子 有政 洋子 陰山 節子 匿名13名
【法人】 赤穂保護区保護司会

福祉の拠点をみんなで支えてください。

●法人会費 5,000円 ●個人会費 2,000円 ●一般会費 500円

賛助会費は、社会福祉協議会の貴重な財源です。安定した地域福祉事業の充実や発展を図るためにも、皆さまのあたたかい援助が必要です。ご協力をお願いいたします。



◎私の娘は障がいがあります。小学生の時、通学途中で一人の女性に「すみません」と声をかけますが、その女性はそのまま通り過ぎていたそうです。それでも娘が毎朝、声をかけていると、そのうちその女性もあいさつをしてくれるようになり、ある日、その女性が娘へ手紙を渡したようです。手紙には、娘の毎朝のあいさつが仕事の活力になったことや、ひとり暮らしをするので娘に会えなくなってしまうのが寂しいと書いてありました。この出来事を聞いた私は、手紙を読んで泣いてしまいました。娘は障がいがあっても、やさしい心を持っていると気づかされました。(匿名)

『あこう話』募集

(応募方法)氏名(ペンネーム)・年齢・性別・電話番号を明記し、持参・郵送・Eメールのいずれかで応募ください。2000字程度にまとめてください。
※送付先は、下記をご覧ください。

です。

～あこうの **ホツ** と な人～

No.36

今回は、手話サークルハンドフレンズで手話・手話歌の活動、フードバンクあこうで食糧支援、赤穂ペアトレ研究会では副代表を務めるなど多岐にわたる活動をされている梶原さんにお話を聞きました。



少しでも誰かのために
かじはら 梶原 弘子さん (平成町)

Q. 活動を始めたきっかけは？

A. 聴覚に障がいのある知人がいて、もっとその人のことを知りたいと思ったことがきっかけで、手話を習い始めました。そこからたくさんの人と交流ができて、受付やイベントなどの手伝いをするようになりました。

Q. 活動をしていてうれしかったことは？

A. たくさんの人と交流ができたことで、手話や音楽の他にも、障がいについてや人の考え方など、今まで知らなかったことを知ることができました。知らないということが誤解や偏見を生むんだと分かり、自分の視野が広がったこともうれしかったです。

Q. これからの目標は？

A. 私も障がいがあり、生活していてすごく住みにくいと感じることがあります。誰もが住みやすいと思える赤穂になって欲しいと思っています。これからも困っている人の気持ちに寄り添えるように活動をしていきたいです。



■ 編集後記 ■

お気づきの方もいらっしゃるのではと思います。4月号より「あこう社協だより」のページを開く方向が変わりました。最近では広報紙だけではなく、横書き文章が普及しています。縦書き文章派の方もいらっしゃるかもしれませんが、今後ご愛読よろしくお願いたします。(こ)

ご意見・問合せは ホームページもぜひご覧ください！

社会福祉法人 赤穂市社会福祉協議会

〒678-0232 赤穂市中広267番地

電話 0791-42-1397

FAX 0791-45-2444

E-mail ako-shakyo@ako-shakyo.jp



最新情報は、facebookをチェック！



赤穂市社協

